

社会福祉法人野田芽吹会 地域連携推進会議 会議録

1. 日 時 令和 8 年 2 月 5 日（木曜日）10 時 00 分から 11 時 30 分

2. 場 所 野田芽吹学園 会議室

3. 参加者 利用者様 [redacted] 様
利用者家族 [redacted] 様
地域関係者 [redacted] 様
野田市障害者支援課 欠席
野田芽吹学園 施設長
野田芽吹学園 支援課長

4. 日程

- ・開会
- ・会議の趣旨説明
- ・出席者の紹介
- ・施設紹介
- ・見学
- ・質疑応答

5. 質疑応答

- ・利用者さんへ施設の生活についての質問があった。利用者さんは「楽しいです」「内職頑張ります」と肯定的なお返事をされ、施設の生活を楽しまれている様子が伺えた。
- ・施設紹介の中で、GHから入所へ戻られる事例が多いとの説明に対し、どのように移行されたのか質問があった。施設がGHのバックアップ施設になっているため、短期利用で入所に空きができるまでをつなぎ、入所へ移行したとお応えした。
- ・障害を持たれた方が高齢になられた場合、介護サービスを受けるにはどのようにしたら利用できるのか。また併用はできるのかご質問があった。施設入所を利用されている方は、介護サービスを併用することは基本的にはできず、GHならば利用はすることは可能なこと共有し、65 歳以上の方で医療行為などが必要になった方は、介護認定を受け介護施設に移行した事例があること説明した。

- ・ 家族としては、高齢になっても痛い辛いなどがなく、住み慣れた環境で出来るだけ長く生活できることを望むとのこと意見があった。施設側としても看取りについて他事業所の実践報告を聞き、今後の課題であると認識しています。家族の想いに応えるには様々な連携が不可欠だと思っています。
- ・ 地域と連携について、地域関係者から、「お散歩などの際に、ご挨拶頂だけでも進むと思います」とのご意見を頂きました。

社会福祉法人 野田芽吹会 野田芽吹学園 地域連携推進会議

令和8年2月5日(木)
10:00～



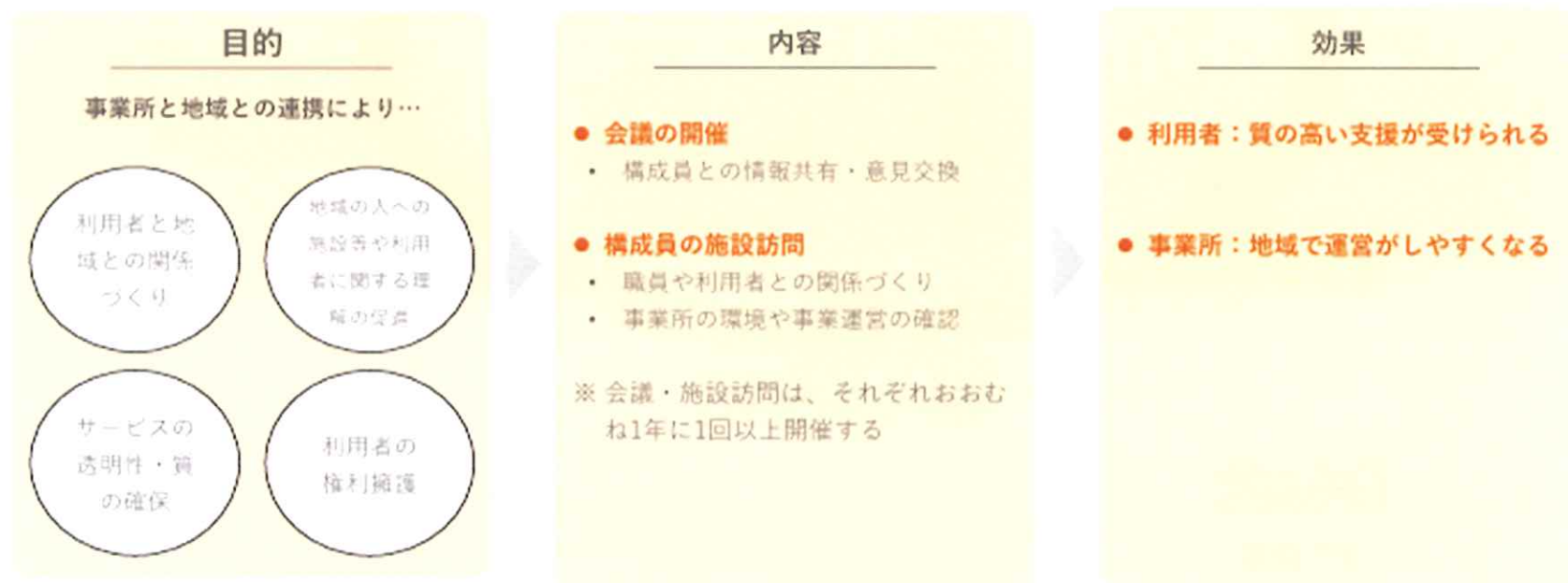
本日の内容

- ・地域連携推進会議とは
会議の目的や内容
会議メンバーの紹介
- ・野田芽吹学園について
沿革・事業内容
- ・施設見学
- ・質疑応答

地域連携推進会議とは

地域連携推進会議の目的・内容・効果

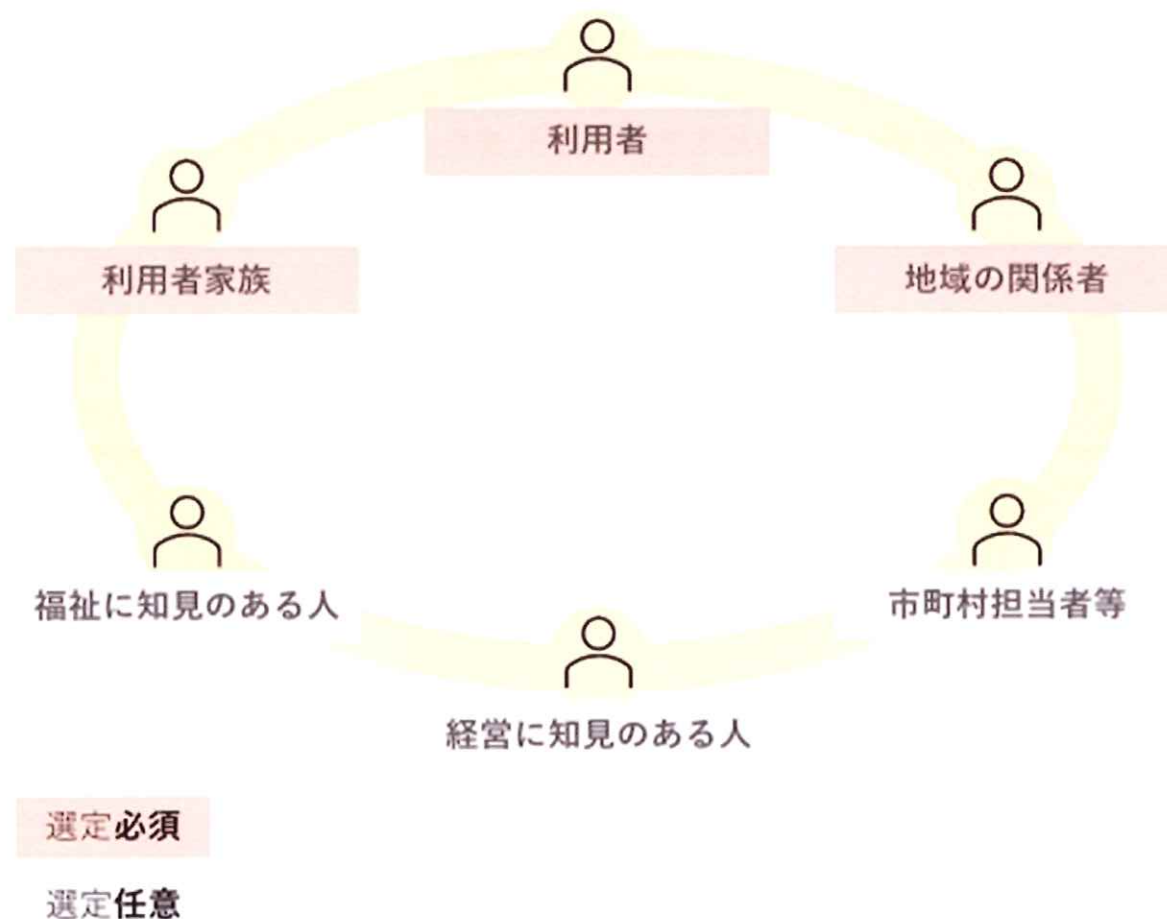
- 事業所と地域との連携による ①利用者と地域との関係づくり、②地域の人への施設等や利用者に関する理解の促進、③サービスの透明性・質の確保、④利用者の権利擁護 を目的に、事業所が設置する外部の目を入れた会議体。
- 会議の開催による構成員との情報共有・意見交換と、構成員の施設訪問による職員や利用者との関係づくり、事業所の環境や事業運営の確認を行う。
- 利用者にとってはより質の高い支援が受けられる効果がある。また、地域との連携を深めることで、事業所にとっても、地域での運営がしやすくなる効果がある。



地域連携推進会議とは

会議の構成員

- 会議の構成員は、「利用者」「利用者家族」「地域の関係者」「福祉に知見のある人」「経営に知見のある人」「市町村担当者」などを想定。このうち、「利用者」「利用者家族」「地域の関係者」は必ず選出することが必要。
- 人数は5人程度。



野田芽吹会の沿革

昭和53年	手をつなぐ親の会にて入所施設設立要望
昭和55年	野田芽吹学園開所 定員50名
平成18年	短期入所事業開始
平成19年	ケアホーム希の芽開所 定員4名 日中一時支援事業開始
平成21年	作業棟増設
平成23年	改修工事並びに増築工事着工
平成24年	個室増築に伴ない、短期定員6名に変更
平成24年	ケアホーム芽ぐみ開所 定員4名
平成26年	相談支援事業所開所 サポート芽吹
平成26年	ケアホーム希の芽新設 定員7名
令和 元年	指定多機能事業所芽ばえ開設 定員20名
令和 3年	グループホーム陽の芽開所 定員4名

野田芽吹会 事業案内

障害者支援施設 野田芽吹学園

定員：入所50名・短期6名

日中一時支援(野田市、流山市等)

職員 常勤26名 非常勤21名

施設入所・生活介護の2つのサービスを提供



野田芽吹会 事業案内

共同生活援助 芽ぐみ(男性 定員4名)
希の芽(女性 定員7名)
陽の芽(男性 定員4名)



野田芽吹会 事業案内

相談支援事業所 サポート芽吹
相談員1名 兼務1名
野田芽吹学園内に併設

社会福祉法人 野田芽吹会



相談支援事業所



サポート芽吹

指定多機能型事業所 芽ばえ(通所)
生活訓練6名
就労継続 支援B型14名 定員20名



野田芽吹学園について



1.法人理念

社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を確実、効率的かつ適正に行うため、自主的にその経営基盤の強化を図るとともに、その提供する福祉サービスの質の向上並びに事業経営の透明性の確保を図り、地域福祉の推進に努めます。

2.野田芽吹学園 の基本理念

芽吹学園では、法人理念を実現するために【人は人として人らしく「はたらき・楽しみ・チャレンジ」する】暮らしの場が作れるように利用者本人の意向を尊重し、生活の質をより高く快適なものにすることを目標とし、適切な支援を行います。

野田芽吹学園の利用者さんの状況 (年齢)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	合計	平均	最年少 ～ 最高齢
男性		1	4	8	6	7		26	50.6	26歳 ～ 66歳
女性			4	2	8	5	5	24	56.7	31歳～ 78歳
合計	0	1	8	10	14	11	5	50	53.6	

野田芽吹学園の利用者さんの状況 (在所年数)

	～1年	～3年	～5年	～10年	～20年	～25年	～30年	31年～	合計	平均
男性	2	3	4	2	7	0	0	8	26	18.69
女性	2	0	2	3	5	0	3	9	24	24.16
合計	4	3	6	5	12	0	3	17	50	21.32

野田芽吹学園の利用者さんの状況 (障害支援区分)

	区分3	区分4	区分5	区分6	合計	平均
男性	0	1	4	21	26	5.84
女性	0	0	2	22	24	5.96
合計	0	1	6	43	50	5.84

虐待防止・権利擁護について

- ・権利擁護啓発委員会

「きりんの会」発足 平成15年

2ヶ月に一回の目標設定

「チェックリスト」と「自己チェック表」の提出

「きりんの会」会議にて次回の目標設定

職員会議にて目標提示

- ・虐待防止・身体拘束適正化委員会

委員会を法人として設置

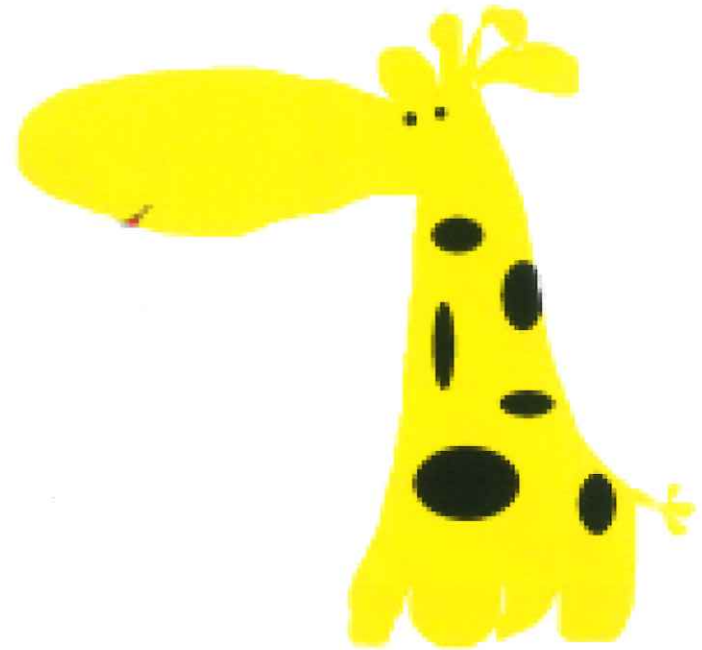
委員に第三者委員3名に参加して頂いている。

学園は、2ヶ月に一回開催。GH・通所は、4ヶ月に一回開催

- ・研修

外部研修への職員派遣や、その伝達研修を内部で開催。

毎月の職員会議にて、防犯カメラでとらえたトラブル映像を共有



日中活動の様子

山吹班(内職・創作)



ひまわり班(内職・農耕・創作)



花水木班(リハ・レク・創作)



かえで班(個別・レク・散歩)



行事

春まつり



芽吹まつり



日帰り旅行



新年会



地域交流

おひさまといっしょに



サンスマイル



芽吹まつり



野田芽吹学園の一日と館内図

(平日)

6:00	8:00	9:00	12:00	13:00	15:00	15:45	17:30	21:00
起床 着替え	朝食	作業 水分補給	昼休み 昼食	作業 おやつ	清掃	入浴 着替え	夕食 余暇時間	就寝 消灯

- ・理学師来園：毎月  ・利用者話し合い：毎月 ・健康栄養会議：毎月 誕生会/売店日：毎月
・相談日：隔週 第三者委員来園 
・健康管理：健康診断（年2回） 歯科検診 血圧・体重測定 ※通院診察時
・遊活動：内職・農作業・EW ボカシ製造・せっけん製造・体力・健康維持活動 手芸活動
身体ケア 脳域活動 etc

【土日祝日】

6:00	8:00	9:00	12:00	13:00	14:00	14:30	17:30	21:00
起床 着替え	朝食	余暇時間 ジョーシス入 	昼食 昼休み	入浴 個別外出	おやつ	余暇時間	夕食 余暇時間	消灯 就寝

